



2022年3月30日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・アールジャパンホールディングス  
 代 表 者 名 代表取締役社長・CEO 寺 下 史 郎  
 (コード番号：6035 東証一部)  
 問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長 古 田 温 子  
 ( TEL. 03-3519-6750 )

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年2月10日に公表いたしました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期連結業績予想につきまして、以下のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,000	6,000	5,990	4,050	228.00
今回修正予想 (B)	8,400	3,520	3,500	2,400	135.11
増減額 (B-A)	△3,600	△2,480	△2,490	△1,650	
増減率 (%)	△30.0	△41.3	△41.6	△40.7	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	8,284	4,080	4,070	2,802	157.81
前期増減率 (%)	1.4	△13.7	△14.0	△14.4	

## 2. 修正の理由

当社の連結子会社株式会社アイ・アールジャパンで手掛ける50百万以上の大型案件及び同じく連結子会社株式会社J O I Bが支援中のFA案件のうち新規の通常及び大型プロジェクトのパイプライン約23億円及び既契約見込みの案件約12億円のうち約9億円が当期中に実現しなかったことに加えて、既契約大型プロジェクトの成功報酬型案件に、当初の想定を下回る報酬となる案件が約3億円あったことから、当期の連結売上高が減少し、前回予想を大幅に下回る見通しです。利益面につきましては、売上高の減少及び人件費の増加に伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回公表の業績予想を大幅に下回る見込みとなりました。

その結果、通期見通しにおける連結売上高は前回予想値より3,600百万円減少の8,400百万円（30.0%減、前期8,284百万円前期比1.4%増）、営業利益は同じく2,480百万円減少の3,520百万円（41.3%減、前期4,080百万円前期比13.7%減）、経常利益は、同じく2,490百万円減少の3,500百万円（41.6%減、前期4,070百万円前期比14.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、同じく1,650百万円減少の2,400百万円（40.7%減、前期2,802百万円前期比14.4%減）となる見込みです。

また、配当につきましては業務体制の確立と将来投資が計画通りに着実に進捗していることから、期末配当は、変わらず前期比18円増配の1株につき68円を予定しており、年間配当金は、113円となり配当性向83.6%となる見通しです。

以 上

※ 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。